

慶應義塾大学学術情報リポジトリ  
Keio Associated Repository of Academic resources

Title	今泉孝太郎名誉教授略歴；今泉孝太郎名誉教授主要業績
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学法学研究会
Publication year	1995
Jtitle	法學研究：法律・政治・社会 (Journal of law, politics, and sociology). Vol.68, No.6 (1995. 6) ,p.153- 157
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	今泉孝太郎先生追悼記事
Genre	Article
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00224504-19950628-0153">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00224504-19950628-0153</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

## 今泉孝太郎 名誉教授 略歴

明治三十三年五月三十一日 新潟県に生まる

大正一四年三月 高等試験司法科合格

大正一五年三月 慶應義塾大学法学部政治科卒業

大正一五年四月 鐘淵紡績株式会社に入社

昭和三年四月 板倉卓三博士の勧めにより同社を退社し慶應義塾大学法学部助手となる

昭和八年四月 慶應義塾大学法学部予科講師を兼務

昭和九年五月 慶應義塾大学法学部助教

昭和一〇年一二月一―一四年三月 慶應義塾派遣留學生として民法研究のためドイツ（ブレスラウ大学）に留学 ハインリヒ・ランゲ教授に師事

昭和一二年一〇月 慶應義塾大学法学部教授

昭和一五年九月 慶應義塾大学学生部主事を兼務（至一九年一〇月）

昭和一七年七月 慶應義塾大学教務監督を兼務（至一九年一〇月）

昭和二〇年七月 慶應義塾塾員課長を兼務（至二〇年九月）

昭和二〇年九月 慶應義塾資金募集事務室主任を兼務（至二二年八月）

昭和二五年四月 新潟大学講師を兼務（至三七年三月）

昭和二六年一月 東京家庭裁判所調停委員（至四二年一二月）

昭和二六年四月 慶應義塾大学大学院法学研究科委員を兼務

- 昭和二十七年一月 東京家庭裁判所参与員(至五三年二月)  
昭和三〇年六月 慶應義塾大学就職部長を兼務(至三五年三月)  
昭和三十一年二月 「新民法総則」の著述により義塾賞を受く  
昭和三十三年三月 学位論文「農民法研究——農地法の新しい解釈——」により法学博士の学位を受く  
昭和三十四年一〇月 慶應義塾大学法学部長・大学院法学研究科委員長を兼務(至三八年九月)  
昭和三十九年七月 慶應義塾常任理事(至四〇年四月)  
昭和四四年三月 慶應義塾大学を定年退職  
昭和四四年四月 慶應義塾大学名誉教授  
昭和四四年七月 東京都公安委員(至六二年七月)  
昭和五九年四月 勲二等瑞宝章を受く  
平成六年二月一〇日 逝去(享年九四才)

今泉孝太郎 名誉教授 主要業績

著書

法律学概論

ナチのつぶて

ナチスの文化を探る

学生・思想・生活

物権法（慶應義塾大学通信教育教材）

新物権法論

相統法（慶應義塾大学通信教育教材）

新民法総則

農民法研究——農地法の新しい解釈——

改訂 新民法総則

物権法論

民法要説（共同監修）

論文

独逸労働裁判所の発達

近代法律理論に投影する社会思想

巖松堂 昭和八年

巖松堂 昭和一四年

慶應出版社 昭和一五年

三田文学出版部 昭和一八年

慶應通信 昭和二四年

帝国判例法規 昭和二五年

慶應通信 昭和二五年

泉文堂 昭和三二年

泉文堂 昭和三二年

泉文堂 昭和三八年

泉文堂 昭和四二年

慶應通信 昭和五四年

法学会誌 一号 昭和五年

法学会誌 二号 昭和五年

近代私法に於ける基礎概念の研究

法律相談鑑定部批判

米國諸大学に於ける法律臨床講義の実状

經濟觀念と法律觀念の哲學的考証

民法に於ける不作為の現象學的研究

法律妥当の本質及根拠

正義と金

法律の語源の意味

露西亞の法律哲學に於ける現象學的傾向

理論と實際

疆界木 (Grenzbaum) の法律構成

抵當權從屬性の本質的否定

法律學に於ける國家主義の抬頭——ラインハルト・ヘーンの法人否定說

五・一五事件と大原弁護士

Japanische Privatrechtliche Sondergesetzgebung  
(一九三六年四月二〇日 Akademie für Deutsches Recht に於ける講演)

獨逸私法學の情勢と任務

ナチス獨逸に於ける法律制度の統制

契約理論の変転

獨逸に於ける「第三ライヒ」の意味

ドイツの戰時經濟法

借地借家の新規制

法学研究一〇卷一・三號 昭和六年

法學會誌 三號 昭和六年

法學會誌 四號 昭和六年

法學會誌 五號 昭和七年

法学研究一二卷一號 昭和七、八年

法学研究一二卷四號一三卷一號 昭和八、九年

法學會誌 七號 昭和八年

法學會誌 八號 昭和八年

法学研究一三卷三號 昭和九年

法學會誌 九號 昭和九年

法學會誌一〇號 昭和九年

法学研究一四卷二號 昭和一〇年

法學會誌一一號 昭和一〇年

法學會誌一二號 昭和一〇年

法学研究一五卷三號 昭和一二年

法学研究一六卷二號 昭和一二年

法学研究一七卷二・三號 昭和一三年

法学研究一八卷三號 昭和一四年

法学研究一八卷四號 昭和一四年

三田政治學會誌二〇號 昭和一五年

三田政治學會誌二二號 昭和一六年

- |                                    |                |      |
|------------------------------------|----------------|------|
| 農民の法律性格                            | 法学研究二卷四号       | 昭和三年 |
| 担保物権法の基本問題                         | 法学研究二卷二・三合併号   | 昭和二年 |
| 婚姻の範疇論                             | 法学研究三卷六号       | 昭和五年 |
| 一子相続制の研究——均分相続制の批判——               | 法学研究二卷四二号      | 昭和六年 |
| 戦後に於けるドイツの農地改革                     | 法学研究二卷一一・一二合併号 | 昭和七年 |
| 農地の法律関係                            | 法学研究三卷八号       | 昭和三年 |
| 家族共同体の再吟味                          | 綜合法学二卷五号       | 昭和四年 |
| 家族共同体の概念構成（小池博士還暦記念論集「比較法と私法の諸問題」） | 法学研究三卷三号       | 昭和五年 |
| 認知の遡及効                             | 綜合法学二卷五号       | 昭和五年 |
| 結婚前の法律問題                           | 綜合法学三〇号        | 昭和三年 |
| 意思表示論                              | 法学研究三卷一号       | 昭和四年 |
| 神戸先生の「契約解除論」                       | 法学研究四二卷一号      | 昭和四年 |
| 利息制限法超過利息の検討                       | 法学研究五〇卷二二号     | 昭和五年 |
| 家族法の基礎理念                           |                |      |